

◆ 体験授業

S-2

『立体視と3Dテレビ』

講師 鈴木 洋一 講師

14:40～15:10 西2号館3階 331号室

立体視は一世紀以上も前から種々の方式が考えられ、一部は商品として販売されて来ました。立体視では両眼視差に代表される人間の眼の3次元認識機構と光の持つ種々の性質が眼に与える影響とを考えることが重要です。例えば眼は目に見える可視光の強さや波長をそれぞれ明るさと色として知覚します。しかし、位相や偏光を直接、知覚することはできません。位相制御を用いる究極の3次元映像法であるホログラフィーに対して、メガネ式3Dテレビでは偏光と錯視を利用しています。

この体験授業では従来の立体視の説明を行った後、簡単な実験を通して現在、世の中を賑わせているメガネ式3Dテレビについて説明します。(体験実験の都合上、先着20名です。)